

第4回

IoS-OP
シンポジウム懇親会
付き!共に
語り合う

環境対応・運航・船舶管理を支えるAI活用の可能性

生成AIやAIエージェントは、業界や組織の意思とは無関係に不可逆的に進展し、船舶運航や船舶管理の分野でも、すでに業務ツールの一部として利用され始めています。いま問われているのは、AIを使うかどうかではなく、どのように向き合い、どのように制御するかだと考えられます。本シンポジウムは、AI時代に海事産業としてどう向き合うべきかを共に考える出発点として開催します。

開催日時

2026年2月20日(金) 15:00-17:30

(懇親会17:30-19:30)

場 所

海運クラブ 2F ホール
東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル
(懇親会会場:砂防会館 3F 穂高)

形 式

現地開催およびオンラインの
ハイブリッド形式(懇親会は現地開催のみ)

対 象

船社及びIoS-OPコンソーシアム参加企業

参 加 費

無料

定 員

来場:100名/オンライン:500名

お申込みはコチラから

<https://form.run/@IoSOPsymposium4>

15:00 15:10	【開会挨拶】 なぜ今、船社にAI活用が必要なのか なぜ、IoS-OPで議論するのか	IoS-OPコンソーシアム議長 川崎汽船 常務執行役員	池田 真吾 氏
15:10 15:40	【第1部】AIユースケース提示・実演 AIは判断を代替しない。 読む・探す・整理する仕事を肩代わりする。	■ AIによる情報整理・要約の実演 ■ 本船・工務監督・専門家の業務を想定 ● 船内マニュアル/手順書 ● 工務監督が扱う報告・修繕履歴 ● 造船所・メーカーの技術文書	
15:40 15:55	【休憩・ポスターセッション】		
15:55 17:25	【第2部】パネルディスカッション 世代と立場を超えて語る AI時代の仕事・判断・責任	■ 各社・各個人のAI利用状況(未利用も含む) ■ 若い世代のAIネイティブ的活用 ■ ミドル・シニア層の判断力・責任・リスク管理 ■ AIを使わないことのリスク	
17:25 17:30	【閉会挨拶】	株式会社シップデータセンター 代表取締役社長	池田 靖弘